KENWOOD

アウトドアラジオ

ODR-01

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本説明書の他に、取扱説明書の別冊「安全上のご注意」が付属されています。
お客様の安全のため、必ず別冊の内容もお読みのうえご使用ください。

次の付属品がそろっていることを確認してください。
リチウム電池は、予備電池ケースの中に入っています。

ヘッドホン(1)　リチウム電池・CR123A(1)
予備電池ケース(1)　予備電池ケース用ストラップ(1)
エマージェンシーカプセル(1)　レスキューシート(1)
電池カバーオープナー(1)

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

B60-4318-00 02 (JA) (J) KW AP 9811

定格

ラジオ部

受信周波数範囲

FM　76 ～ 108 MHz
AM　522 ～ 1629 kHz（9kHzステップ）
　　530 ～ 1700 kHz
　　（10kHzステップ切り換え時）
NSB1　3925、6055、9595 kHz
NSB2　3945、6115、9760 kHz

IC録音部

録音方式 .... モノラル録音
録音時間
　ラジオ放送録音　最長15分　（最大19件）
　マイク録音　最長1分　（最大10件）

電池持続時間

ラジオ受信

	ヘッドホン使用	スピーカー使用
FM放送	約 34 時間	約 16 時間
AM放送	約 38 時間	約 19 時間
NSB放送	約 38 時間	約 19 時間

- 周囲温度25℃にて連続使用したときの標準時間です。
- 周囲の温度、環境や使用条件により、電池の持続時間は異なります。

電源・その他

スピーカー .... 36 mm、8 Ω×1
実用最大出力 .... 160 mW（EIAJ 8 Ω）
電源 .... DC 3.0 V：リチウム電池（CR123A/CR17345）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行） .... 79 mm×117.5 mm×30.5 mm
質量（重量） .... 260 g（正味）電池含まず
275 g（正味）付属電池含む

メモ　これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。

KENWOOD
株式会社 ケンウッド
〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
  お客様相談室　（東京）　電話 (03) 3477-5335　〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
  　（大阪）　電話 (06) 6357-5335　〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにご相談ください。

本機の特長

FM・TV（1ch～3ch）/AM/NSBの3バンドを高感度受信 *1

FM・TV（1ch～3ch）、AMに加え、アウトドアでの活動に欠かせない高層気象などのNSB（ラジオたんぱ放送）やNHK気象通報、船舶気象通報（エリアプリセット）などを高感度で受信できます。

激しいアウトドア活動でも安心な耐衝撃性能 *2

軽量高剛性のチタン材、ゲル状衝撃吸収材によって、優れた耐衝撃性能を実現しました。

厳寒の冬山での使用を想定した耐寒性能

マイナス20℃でも動作可能、過酷な厳寒の冬山でも性能を発揮し、必要な情報を漏らさず提供します。

水上スポーツでも安心な防水性能 *3

水中への不意の落下にも対応した防水性能を確保しました。水辺でのレジャーにも安心して携帯することができます。また、新開発の防水ヘッドホン（モノラルタイプ）を付属しています。

便利な高性能ICレコーダー＆タイマー録音機能を内蔵 *1

便利な高性能ICレコーダーを内蔵。ラジオ放送を15分間と、音声をメモ代わりに1分間録音することができます。
タイマー録音機能によって、電源を切っていても自動的に高層気象を録音します。
また、任意にタイマーを設定して好みの放送を録音することもできます。

チタン材を採用した軽量ボディ

高剛性かつ軽量で、腐食にも強いチタン材を携帯型ラジオのボディとして初めて採用。耐衝撃性能の強化と軽量化を両立させました。

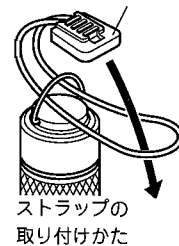
アウトドアに欠かせない各種アクセサリー

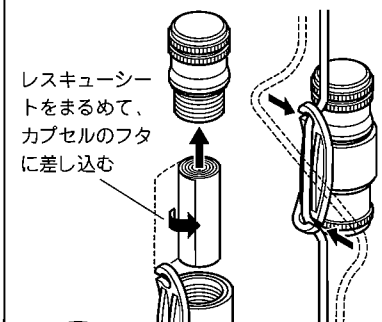
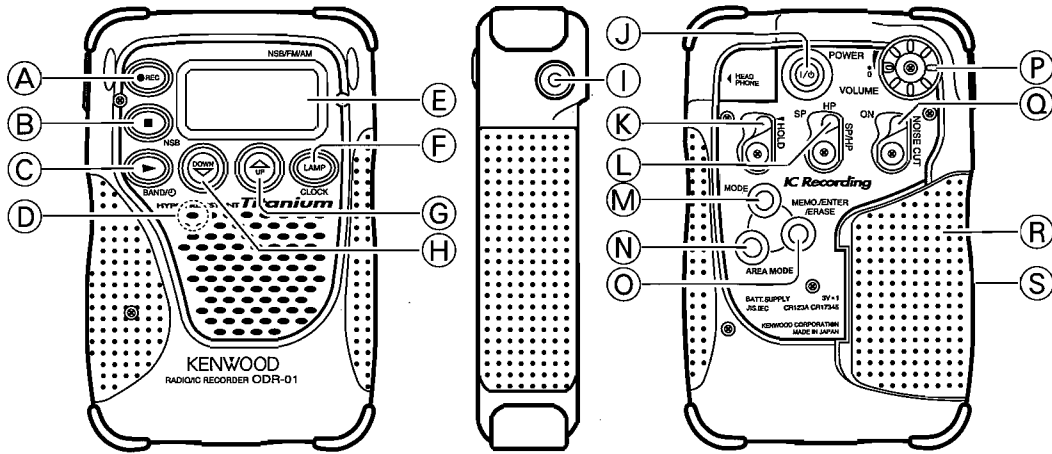
- スタイリッシュな緊急用カプセル（エマージェンシーカプセル）
  いざというときに備えて、個人情報などを記載できるレスキューシートを付属。
- 防水タイプの予備電池ケース
  防水タイプの予備電池ケースを付属。不意の電池切れにも対処できます。
- ダイニーマ素材を採用したストラップ
  ストラップには耐摩耗性、耐候性に優れたダイニーマ素材を採用しました。

*1　放送エリア外や山間部など、電波が届きにくい場所では、放送を受信、録音することができない場合があります。
*2　本体に傷、へこみ、割れなどの外観部品が損傷するような衝撃に対しては、動作性能を保つことができない場合があります。
*3　ラジオ本体の防水性能はJIS保護等級7（防浸形）です。
JIS保護等級7 適合機器: 水面下1mで30分間水中（真水）に放置しても内部に水が入らないもの。
ヘッドホンの防水性能はJIS保護等級4（防まつ形）です。
JIS保護等級4 適合機器: いかなる方向から水（真水）の飛まつを受けても有害な影響がないもの。

使用上のご注意

- 本機は水中で使用することはできません。また、水の中に長時間放置したり、水滴が付いたまま長時間放置しないでください。故障の原因となります。
- 海水がついたときは、すぐにヘッドホンをはずし、また電池カバーは締めロックした状態にし、洗面器などに溜めた水道水で洗ってから水分をふき取ってください（じゃ口から直接、強い水流で洗うと水流により砂や泥がヘッドホン端子やスピーカーなどに入り込み、故障の原因となります）。30分以上水につけないでください。
- ヘッドホンの内部に水滴が入ると、音がこもって聞こえることがあります。このような場合ヘッドホンを軽く振り、水を切ってください。

予備電池ケース

予備電池ケース用ストラップ
ストラップの取り付けかた
予備電池
フタのはずしかた

エマージェンシーカプセル

レスキューシートをまるめて、カプセルのフタに差し込む
フタのはずしかた
ラジオ本体または予備電池ケース用ストラップに取り付ける

各部のなまえ

Ⓐ REC キー
Ⓑ 停止（■）/NSB キー
Ⓒ 再生（►）/BAND/タイマー（◷）キー
Ⓓ 内蔵マイク
Ⓔ 表示部
Ⓕ LAMP/CLOCK キー
Ⓖ UP キー
Ⓗ DOWN キー
Ⓘ HEADPHONE 端子
Ⓙ POWER（I/⏻）キー
Ⓚ HOLD スイッチ
Ⓛ スピーカー（SP）/ヘッドホン（HP）切り換え スイッチ
Ⓜ MODE キー
Ⓝ AREA MODE キー
Ⓞ MEMO./ENTER/ERASE キー
Ⓟ VOLUME つまみ
Ⓠ NOISE CUT スイッチ
Ⓡ 電池カバー
Ⓢ 電池カバーロック つまみ

LAMP/CLOCK キーを押すと表示部のバックライトが5秒間点灯します。
点灯中に、LAMP/CLOCK キー以外のキー操作をしている間は点灯しつづけます。

表示部

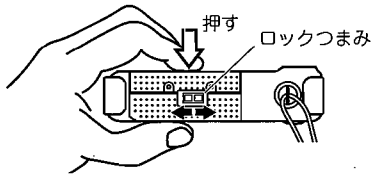
再生表示
ホールド表示
タイマー表示
REC 表示
AREA 表示
MEMO. 表示
放送局プリセット番号/録音インデックス番号表示
周波数/時間 /エリア番号表示
NSB/TV/FM/AM放送表示
AM（午前）/PM（午後）表示
電池残量表示
START 表示
RADIO 表示
LENGTH 表示
INDEX 表示
MIC 表示

電池の入れかた ①

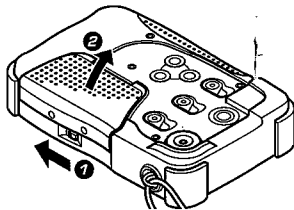
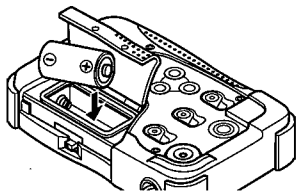
見出しの横に表示している丸囲み数字は、海外言語の説明用のものです。

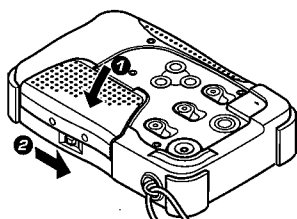
本機の電源には、リチウム電池 CR123A（CR17345）を使用してください。

電池カバーのロックを解除するときやロックするときは、図のようにカバーを押しながら、付属の電池カバーオープナーを使用して、ロックつまみをスライドさせてください。

押す
ロックつまみ

電池カバーのロック部は、防水性を高める構造になっているため、ロックつまみをスライドさせるには力が必要です。潤滑剤などは塗布しないでください、故障の原因となります。

1. 電池カバーのロックを解除してカバーを開ける

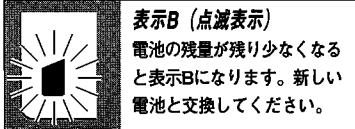
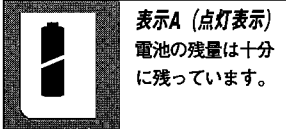
2. 電池を入れる

3. 電池カバーを閉め、カバーをロックする

- ⊕極と⊖極に注意して、電池を入れます。

電池の残量表示 ②

動作中、電池の残量に応じて電池残量表示はA➡B➡C の順に変わります。

表示A（点灯表示）
電池の残量は十分に残っています。

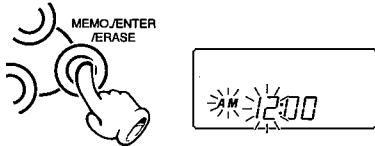
表示B（点滅表示）
電池の残量が残り少なくなると表示Bになります。新しい電池と交換してください。

表示C（点滅表示）
電池がなくなると表示Cになります。動作中に電源が切れたり、電源がオフのときは、キー操作ができなくなります。

- IC録音した内容、時刻やタイマーの設定、ラジオ放送局のプリセットなどの設定内容を保持するために、電池を交換するときは電池を取り外してから1分以内に新しい電池を入れてください。
- 電池がなくなり表示Cになった場合、しばらくたつとIC録音した内容や、設定した内容は消えます。**表示B**になった場合、なるべく早く電池を交換してください。
- 特に寒い所（0℃以下）では、電池性能の低下により常温での使用にくらべ電池が早く消耗し、表示Bが早めに表示されることがあります。

本機は電源がオフの状態でも、時計機能、メモリー保護のため微弱な通電を行っています。長期間使用しないときは、電池の消耗や液漏れを防ぐために、電池を取り出しておいてください。

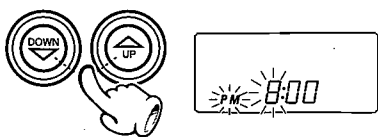
時刻を合わせる ③

本機には時計機能が付いています。タイマー録音を使う前に、必ず正確な時刻に合わせてください。
電源をオフにして操作を行ってください。電源がオンのとき、POWER キーを押すとオフになります。

1 ENTER キーを押す

- 時間表示が点滅して、時刻の設定モードになります。

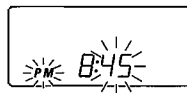
メモ ENTER キーを2秒以上押すと、IC録音の消去モード（オールイレース）になります。消去モードを解除するには、停止（■）キーを押してください。

2 "時"を合わせる

❶ UP、DOWN キーを押して、"時"を合わせる

- UP キーを1回押すと1時間進み、DOWN キーを1回押すと1時間戻ります。
- 時刻は12時間表示で表示されます。昼間の12時は、"PM12:00"と表示されます。

❷ ENTER キーを押して、"時"を確定する

3 "分"を合わせる

❶ UP、DOWN キーを押して、"分"を合わせる

- UP キーを1回押すと1分進み、DOWN キーを1回押すと1分戻ります。

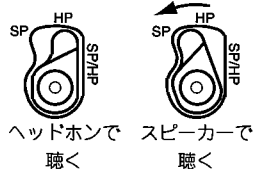
❷ ENTER キーを押して、"分"を確定する

- UP、DOWN キーは、キーを押しつづけると連続的に時間や分が変わります。

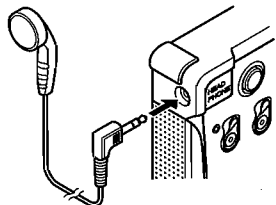
時刻表示について

時刻設定後、5秒後に時刻表示は消えます（電源がオフのときは、表示部の表示は全て消えた状態になります）。時刻を確認したいときは、電源をオフにしてLAMP/CLOCK キーを押すと、5秒間時刻を表示します。

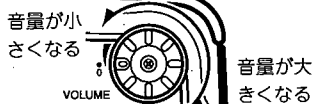
スピーカー/ヘッドホンの切り換えと音量調整

スピーカー/ヘッドホンの切り換え ④

SP HP SP/HP
ヘッドホンで聴く　スピーカーで聴く

音声は内蔵スピーカーまたは付属のヘッドホンで聴くことができます。スピーカー（SP）/ヘッドホン（HP）切り換えスイッチで切り換えてください。

FM・TV（1ch〜3ch）放送を内蔵スピーカーで聴くときでも、ヘッドホンは必ず接続してください。ヘッドホンのコードはFMアンテナを兼ねています。

ヘッドホンのコードはFMアンテナを兼ねています。

音量調整 ⑤

VOLUME（ボリューム）つまみで調整します。

音量が小さくなる　VOLUME　音量が大きくなる

FM・TV（1ch〜3ch）、AM放送を聴く ⑥

次のプリセット機能で記憶させた放送局を選局し、放送を受信します。

■ エリアプリセット（エリアプリセット選局）

本機にはあらかじめ、日本全国の主な放送局の周波数が、主な地域ごとに登録されています。使用される地域を選ぶことにより（エリア設定）、その地域近郊の放送局が自動的にエリアプリセットに記憶されます。

■ ユーザープリセット

エリアプリセットにない放送局、サテライト局または新しく開局した放送局などを記憶させることができます。FM、AM放送局を、それぞれ9局までプリセットできます。

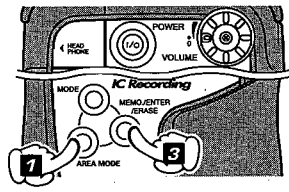
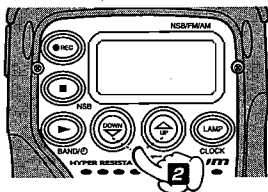
はじめて使用するときや移動先で使用するときは、必ずエリア設定を使用される地域に合わせてから選局するか、ユーザープリセットに放送局をプリセットして選局してください。

メモ　プリセット選局以外に、周波数を指定して選局することができます。選局のしかたは「周波数を指定して選局する（マニュアル選局）」をお読みください。

あらかじめラジオに登録されている放送局を聴く（エリアプリセット選局） ⑦

エリア番号を選ぶ（エリア設定） ⑧

使用される地域または近郊地域のエリア番号を選び、放送局をエリアプリセットに記憶させます。お買い上げいただいたときは、エリア番号"11"（東京圏）に設定されています。

本機に登録されている地域（エリア番号）および放送局名、周波数は添付の「ケンウッドサービス網/エリア別放送局一覧表」または「レスキューシート（裏面）」をご覧ください。

電源をオフにして操作を行ってください。

1 AREA（エリア） MODE（モード）キーを2秒以上押して、エリア番号の設定モードにする

- エリア番号の設定モードになると、"AREA（エリア）"表示が点灯、エリア番号が点滅します。

エリア番号　11

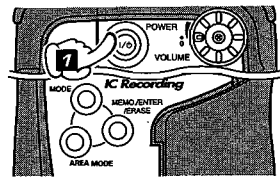
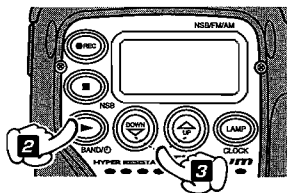
2 UP（アップ）、DOWN（ダウン）キーを押して、エリア番号を選ぶ

- エリア番号はUP（アップ）キーを押すと進み、DOWN（ダウン）キーを押すと戻ります。押しつづけると、連続的に変わります。
- JR新幹線車内放送を聴くときはエリア番号"42"、船舶気象通報を聴くときはエリア番号"43"を選んでください。

3 ENTER（エンター）キーを押して、エリア番号を確定する

- エリア番号の設定が完了し、エリアプリセットに放送局が記憶されます。

- 設定途中に8秒間キーの操作がないと、設定モードが解除になり、設定開始前のエリア番号に戻ります。最初から設定をやり直してください。
- 設定したエリア番号を確認するには、電源をオンにしてAREA（エリア） MODE（モード）キーを押すと、設定したエリア番号を表示します。

放送局を受信する（エリアプリセット選局） ⑨

1 電源をオンにする

2 放送バンドを選ぶ

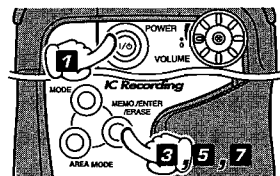
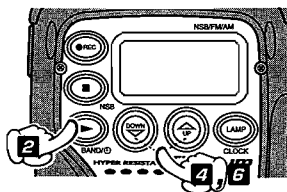
BAND（バンド）キーを押して、FMまたはAM放送を選ぶ

- キーを押すたびに、FM（TV）放送とAM放送が切り換わります。
- テレビ放送（1ch〜3ch）を聴くときは、FM放送を選びます。
- 本機のテレビ放送受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビ放送受信時に、FM放送の音声が混信することがあります。

FM（TV）放送受信：FM放送受信　FM 76.1MHz 1（プリセット番号）／テレビ放送受信　TV 1ch 10
AM放送受信：AM 594kHz 1

3 UP（アップ）、DOWN（ダウン）キーを押して、放送局を選ぶ

- キーを押すたびに、選んだバンドのエリアプリセットに記憶された放送局がプリセット番号順に切り換わり、放送を受信します。

放送局を記憶させる（ユーザープリセット） ⑩

1 電源をオンにする

2 放送バンドを選ぶ

BAND（バンド）キーを押して、FMまたはAM放送を選ぶ

- キーを押すたびに、FM放送とAM放送が切り換わります。
- テレビ放送を受信している状態では、放送局を記憶させることはできません。UP（アップ）、DOWN（ダウン）キーを押してテレビ放送以外のFM放送の受信状態にしてください。

① "FM" 点灯（FM放送）
② "AM" 点灯（AM放送）

3 MEMO.（メモリー）キーを2秒以上押す

- 周波数表示が点滅表示に変わり、周波数設定モードになります。

MEMO　FM 76.1MHz 1

テレビ放送を受信している状態では、周波数設定モードにはなりません（テレビ放送を受信している状態でMEMO.（メモ）キーを押すと、"CAnt"と表示されます）。

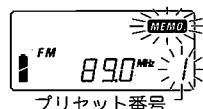
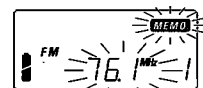
4 UP（アップ）、DOWN（ダウン）キーを押して、プリセットする放送局の周波数に合わせる

- 周波数はUP（アップ）キーを押すと上がり、DOWN（ダウン）キーを押すと下がります。押しつづけると、連続的に変わります。

5 ENTER（エンター）（MEMO.（メモリー））キーを押して周波数を確定する

6 UP（アップ）、DOWN（ダウン）キーを押して、プリセット番号を選ぶ

- 1〜9のプリセット番号を選んでください。
- プリセット番号はUP（アップ）キーを押すと進み、DOWN（ダウン）キーを押すと戻ります。押しつづけると、連続的に変わります。

MEMO　FM 89.0MHz 1　プリセット番号

7 ENTER（MEMO.）キーを押し、プリセットを確定する

- 選んだ放送局のプリセットが完了し、引きつづきその放送局を受信します。
- つづけて別の放送局をプリセットするときは、手順2または3からの操作を繰り返してください。

- テレビおよびNSB放送はユーザープリセットには、プリセットすることはできません。
- 設定を途中で中止するときは、手順7のENTER（MEMO.）キーを押す前にPOWERキーを押してください。設定開始前に戻り、電源がオフの状態になります。
- 同じプリセット番号に重ねて記憶させると、新しいプリセット内容に変更されます。
- 設定途中に8秒間キーの操作がないと、設定モードが解除になり、設定開始前の状態に戻ります。
- エリア設定でエリア番号"42"（JR新幹線車内放送受信）、"43"（船舶気象通報受信）や"44"、"45"（マニュアル選局モード）が選ばれていると、ユーザープリセットでの選局やプリセット放送局の追加、変更はできません。

記憶した放送局を受信するには ⑪

ユーザープリセットに記憶した放送局を受信するには、エリアプリセット選局と同じ方法で選局します。

1 電源をオンにする

2 BANDキーを押して、放送バンドを選ぶ

3 UP、DOWN キーを押して、放送局を選ぶ

ユーザープリセットに放送局を記憶させると、UP、DOWN キーを押すことにより、選んだバンドのユーザープリセットとエリアプリセットにプリセットした放送局が連続してプリセット番号順に切り換わり、放送を受信します。

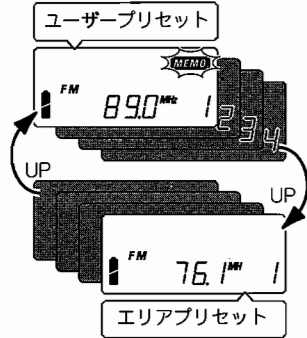
- ユーザープリセットにプリセットした放送局を呼び出したときには、"MEMO."表示が点灯します。

ユーザープリセット

MEMO FM 89.0MHz 1 2 3 4

UP UP

FM 76.1MHz 1

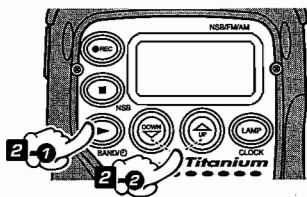
エリアプリセット

周波数を指定して選局する（マニュアル選局） ⑫

1 エリア設定でエリア番号"44"（マニュアル選局）を選ぶ

「FM・TV(1ch～3ch)、AM放送を聴く」の"エリア番号を選ぶ（エリア設定）"の手順1～3を行ってください。このとき、手順2ではエリア番号"44"を選びます。

AREA 44

2 選局する

電源をオンにして操作を行ってください。

❶ BAND キーを押して、放送バンドを選ぶ

- キーを押すたびに、FM放送とAM放送が切り換わります。

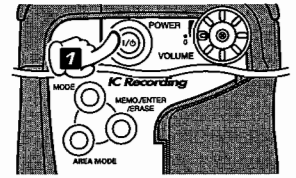
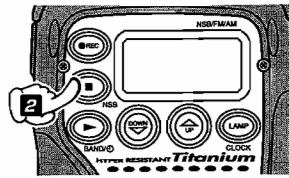
①"FM" 点灯（FM放送）
②"AM" 点灯（AM放送）

❷ UP、DOWN キーを押して、受信する放送局の周波数に合せる

- 周波数はUP キーを押すと上がり、DOWN キーを押すと下がります。AM放送ではキーを押しつづけると連続的に変わります。

FM放送オート（自動）選局
UP、DOWN どちらかのキーを2秒押して、はなしてください。自動的に選局を開始し放送局を受信して止まります。このキーの操作を繰り返すたびに、次の放送局を受信します。しばらくしても放送局を受信しないときは電波が弱いか、受信可能な放送局がない場合です。UP、DOWN どちらかのキーを押してオート選局を終了してください。

- ユーザープリセットにプリセットした放送局は、エリア番号を変更しても設定を記憶しています。
- マニュアル選局では、テレビ放送（1ch～3ch）を選局することはできません。

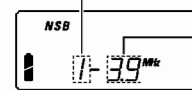
NSB（ラジオたんぱ放送）を聴く ⑬

1 電源をオンにする

2 NSB1（ラジオたんぱ第1放送）またはNSB2（ラジオたんぱ第2放送）を選ぶ

NSB キーを押して、NSB1またはNSB2を選ぶ

- キーを押すたびに、NSB1とNSB2が切り換わります。

①" 1 " 点灯 .... NSB1（ラジオたんぱ第1放送）
②" 2 " 点灯 .... NSB2（ラジオたんぱ第2放送）

NSB 1- 3.9MHz

受信周波数
受信周波数は少数点第2位以下は切り捨てて表示されます。

NSB（ラジオたんぱ放送）受信について

短波放送は、使用する電波の性質上、季節や天候、場所、時間などによって、受信状態が大きく左右されます。NSB（ラジオたんぱ放送）では、安定して放送するために同時に3つの異なる周波数帯（3MHz,6MHz,9MHz帯）の電波を使って同じ放送を行っています。本機では、NSB1、NSB2を選局することにより、各放送ごとに最も受信状態の良い周波数を自動的に選び受信します。

メモ

1. 自動選局では電波が弱かったり、放送が行なわれていない場合は、自動的に3MHz帯の周波数を受信します。
2. 受信状態が変化して放送が聴き取りにくくなった場合、次の方法で受信周波数を再選局すると改善されることがあります。
   - 自動選局で再選局する
     NSB放送受信時に、NSB キーを2秒以上上押す
   - マニュアルで選局する
     NSB放送受信時に、UP、DOWN キーを押して受信周波数帯を変更する

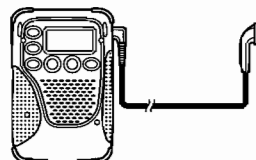
受信状態を良くするには ⑭

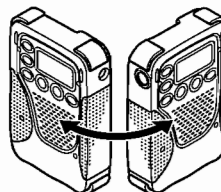
建物や乗り物の中で使用すると、電波が弱まり聴き取りにくいことがあります。できるだけ窓の近くで使用してください。

ノイズカット機能をオンにする

ON NOISE CUT

電波が弱く、雑音で放送が聴き取りにくい場合は、NOISE CUT スイッチをONにしてください。雑音が減り聴き取りやすくなります。電波の受信状態によっては、ノイズカット機能の効果がでないことがあります。

アンテナを調整する

FM・TV(1ch～3ch)放送

ヘッドホンのコードはアンテナを兼ねています。なるべくコードを伸ばして使用してください。

AM、NSB放送

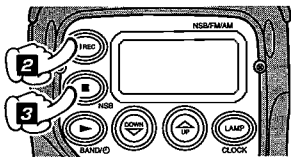
本体にバーアンテナを内蔵しています。アンテナの向きにより、受信状態が左右されます。ラジオ本体の向きをかえて、受信状態の一番よい方向に向けてください。

ユーザープリセットに記憶させた放送局を消去するには

ユーザープリセットに記憶させた放送局が不要になり消去したいときは、次の操作を行ってください。AREA MODE キーを押しながら、停止(■)キーを2～3秒押し続けます。表示部が一瞬全点灯し、ユーザープリセットに記憶させた放送局が全て消去されます。
この操作を行うと、マイコンがリセットされ、IC録音した内容、時刻やタイマーの設定、ラジオ放送局のプリセットなど設定内容が消去され、お買い上げいただいたときの状態に戻ります。

録音する(ICレコーディング) ⑮

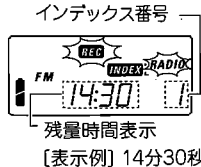
IC録音機能では、ラジオ放送を最長15分間および内蔵マイクで音声を最長1分間録音できます。

ラジオ放送を録音する ⑯

1 録音する放送局を受信する

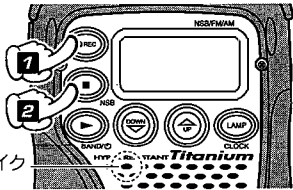
- 受信方法は、「FM･TV(1ch〜3ch)、AM放送を聴く」または「NSB(ラジオたんぱ放送)を聴く」をお読みください。

2 REC キーを1秒以上押し、録音を開始する

- 録音が始まると、表示部に録音可能な時間(残量時間)およびインデックス番号を表示します。
- 本機は、ラジオ録音用のICメモリーを2個使用し長時間録音を可能にしています。このため2つのICメモリーが切り換わるときに一瞬(約0.5秒)音途切れが発生します。ICメモリーの切り換えは残量時間表示が **"7:00"**(7分)のときに発生します。

インデックス番号
残量時間表示
[表示例] 14分30秒

3 停止 (■) キーを押し、録音を終了する

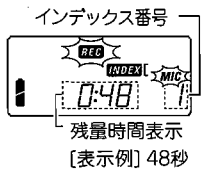
- キーを押して録音を終了、または録音時間がなくなり録音が終了しても、放送は引きつづき受信されます。

マイクで録音する ⑰

内蔵マイク

電源をオフにして操作を行ってください。

1 REC キーを1秒以上押し、録音を開始する

- キーを押して、"REC"表示が点灯したら、内蔵マイクに向かってしゃべってください。マイクとの間は10cmぐらいはなしてください。
- 録音中、表示部には録音可能な時間(残量時間)およびインデックス番号を表示します。

インデックス番号
残量時間表示
[表示例] 48秒

2 停止 (■) キーを押し、録音を終了する

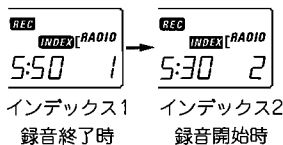
- キーを押して録音を終了、または録音時間がなくなり録音が終了すると、電源がオフの状態に戻ります。

インデックスと録音時間について

REC キーを押して録音を開始すると、インデックスが自動的に書き込まれ、表示部にインデックス番号が表示されます。録音操作を繰り返すとインデックス番号がそのたびに1つずつ増えて書き込まれます。ラジオ放送の録音は最大19件(インデックス番号19まで)、マイク録音は最大10件(インデックス番号10まで)の内容を録音できます。

- 録音時間がなくなると、最大件数以下でも録音ができなくなります。
- 録音時間が残っていても、最大件数までしか録音できません。

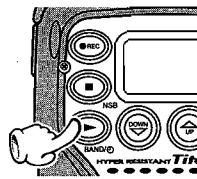
本機においては1つのインデックスの録音時間をラジオ放送の録音では30秒、マイク録音では6秒単位で管理しています。たとえばラジオ放送の録音で残り時間5分50秒で終了しても、次に録音するときには録音可能な時間(残量時間)は5分30秒になります。

5:50 1 → 5:30 2
インデックス1 録音終了時
インデックス2 録音開始時

"FULL"と表示された場合

REC キーを押したとき、"FULL"が点滅表示した場合、録音可能な時間(残量時間)またはインデックスがないことを示しています。すでに録音されている内容を消去してから録音してください。消去のしかたは「録音した内容を消去する」をお読みください。

録音した内容を再生する ⑱

最後に録音した内容を再生する

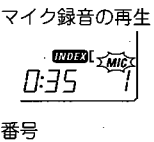
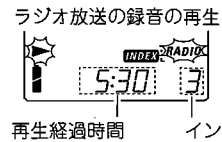
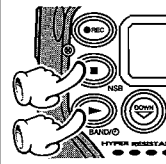
録音した内容をすぐに確認したいときなど、ラジオ放送の録音、マイク録音にかかわらず、最後に録音した内容を再生するときは、次の操作を行ってください。

電源をオフにして操作を行ってください。

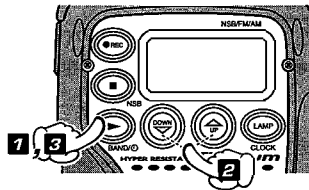
再生 (▶) キーを押して、再生する

- 最後に録音した内容が再生されます。
  再生終了後、自動的に停止し電源がオフの状態に戻ります。
- 録音後、インデックス番号を選んで再生したあとに、この操作を行うと、そのインデックスが再生されます。

再生中の表示について

表示部には再生しているインデックス番号とそのインデックスの経過時間を表示します。

ラジオ放送の録音の再生 / マイク録音の再生
再生経過時間 / インデックス番号

再生を停止、一時停止するには

- 再生を停止させるには、停止(■) キーを押します。
  (電源がオフの状態に戻ります。)
- 再生を一時停止させる場合は、再生(▶) キーを押します。一時停止中は"▶"表示が点滅します。
  引きつづき再生するときは、もう一度、再生(▶) キー を押します。
  (一時停止は約2分間で解除になり、電源がオフの状態に戻ります。)

インデックス番号を選んで再生する ⑲

電源をオフにして操作を行ってください。

1 再生一時停止状態にする

❶ 再生 (▶) キーを押して、再生状態にする

❷ もう一度、再生 (▶) キーを押して、再生一時停止状態にする

- 一時停止状態になると、"▶"表示が点滅表示に変わります。

録音したものがないと、キーを押したときに"NONE"と点滅表示します。また、イレース機能でラジオ、マイク録音のどちらかの全てのインデックスを消去したときにも、"NONE"と点滅表示します。このときはMODEキーを押してラジオ、マイク録音の切り換えを行ってから、再生 (▶) キーの操作を行ってください。

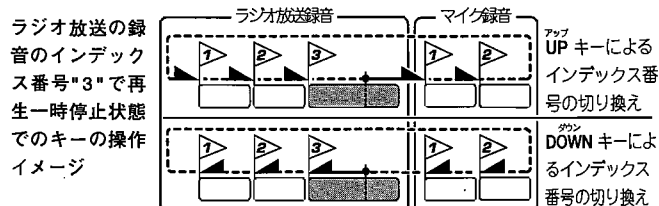
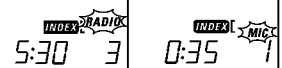
2 UP、DOWN キーを押して再生するインデックス番号を選ぶ

- UP キーを押すと、インデックス番号が進みます。
- DOWN キーを1回押すと、再生一時停止しているインデックスの最初に戻ります。
  DOWN キーをすばやく2回押すと、インデックス番号が1つ戻ります。

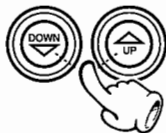
UP、DOWN キーによるインデックス番号の切り換えについて

キーの操作により、ラジオ放送の録音、マイク録音が連続してインデックス番号順に切り換わります。

ラジオ放送の録音のインデックス番号"3"で再生一時停止状態でのキーの操作イメージ

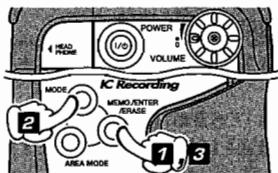
ラジオ放送録音 / マイク録音
UP キーによるインデックス番号の切り換え
DOWN キーによるインデックス番号の切り換え

ラジオ放送の録音のインデックス番号を選ぶと"RADIO"と表示し、マイク録音のインデックス番号を選ぶと"MIC"と表示します。

3 再生 (▶) キーを押して、再生する

- 選んだインデックスの再生終了後、自動的に停止し電源がオフの状態に戻ります。

スキップ再生

再生中にUP(アップ)キーを押すと時間表示が進み、DOWN(ダウン)キーを押すと戻ります（ラジオ放送の録音では30秒、マイクでの録音では6秒単位で時間が前後します）。表示された時間から再生が再開します。

録音した内容を消去する ⑳

消去方法は、オールイレースとインデックスイレースの2つの方法があります。

ラジオ放送の録音またはマイクで録音した全ての内容を消去する(オールイレース) ㉑

ラジオ放送の録音またはマイクで録音した全ての内容を一度に消去します。

電源をオフにして操作を行ってください。

1 ERASE(イレース) キーを2秒以上押して、消去モードにする

- 表示部に"-- -- AL"が点滅表示し、消去モードになります。
- 消去モードにしてから、8秒以内に2と3の操作を行ってください。8秒がすぎると消去モードが解除になり、電源がオフの状態に戻ります。

2 MODE(モード) キーを押して、消去するものを選ぶ

- キーを押すたびに、ラジオ放送の録音とマイク録音が切り換わります。

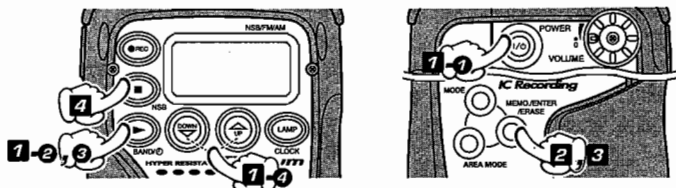
① "RADIO(ラジオ)" 点滅（ラジオ放送の録音の消去）
② "MIC(マイク)" 点滅（マイク録音の消去）

3 もう一度、ERASE(イレース) キーを押して消去する

- キーを押すと、消去が実行されます。

録音したものがないと、キーを押したときに"nOnE"と点滅表示します。

- 途中で消去を中止するには、手順3のERASE(イレース)キーを押す前に、停止(■)キーを押してください。

選んだインデックスだけを消去する(インデックスイレース) ㉒

1 消去するインデックスを再生一時停止状態にする

詳しい操作方法は「インデックス番号を選んで再生する」をお読みください。

❶ 電源をオフにする

❷ 再生（►）キーを押して、再生状態にする

❸ もう一度、再生（►）キーを押して、再生一時停止状態にする

❹ UP(アップ)、DOWN(ダウン) キーを押して消去するインデックス番号を選ぶ

- 消去するインデックスが再生一時停止状態になります。
- ラジオ放送の録音のインデックス番号を選ぶと"RADIO(ラジオ)"と表示し、マイク録音のインデックス番号を選ぶと"MIC(マイク)"と表示します。

メモ：消去する録音内容を確認するために、再生（►）キーを押して再生し、消去するインデックスの再生中にもう一度再生（►）キーを押して再生一時停止状態にすることをおすすめします。

2 ERASE(イレース) キーを押して、消去モードにする

- 表示部に"-- --"とインデックス番号が点滅表示し、消去モードになります。

3 もう一度、ERASE(イレース) キーを押して消去する

- キーを押すと、選んだインデックス番号の録音内容が消去されます。
- 消去後、消去した次のインデックスの再生一時停止状態になります。(最後のインデックス番号を消去したときは、消去した1つ前のインデックスの再生一時停止状態になります。全てのインデックスを消去したときには、電源がオフの状態に戻ります。)
- インデックスイレースで消去すると、消去した内容以降のインデックス番号は1つずつ前に繰り上がります。
- 他のインデックス番号の録音内容を消去するときは、UP(アップ)、DOWN(ダウン) キーを押して消去するインデックス番号を選び、手順2からの操作を行ってください。

インデックス2（録音内容B）を消去したイメージ

1 A 2 B 3 C 4 D ➡ 1 A 2 C 3 D

消去後、インデックス番号"2"（録音内容C）の再生一時停止状態になる

4 停止（■）キーを押して、消去を終了する

- 電源がオフの状態に戻ります。

- 途中で消去を中止するには、手順3のERASE(イレース) キーを押す前に、停止(■)キーを押してください。

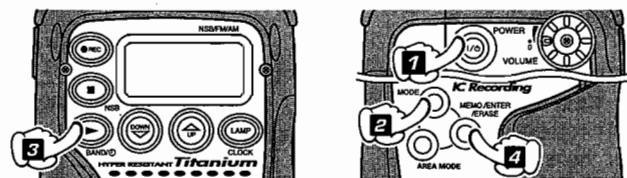
タイマー録音を使う(AUTO(オート) WEATHER(ウェザー) TIMER(タイマー)) ㉓

本機には、ラジオ放送をタイマー録音する機能があります。

お買い上げいただいたときのタイマー録音は、ラジオたんぱ第1放送を午前5時20分から15分間放送を録音するように設定されています（*）。
タイマーがオンになっていると、毎日タイマー録音が実行されます（前日タイマー録音した放送、タイマー録音以外で録音したラジオ放送は全て消去されます）。放送局、開始時間、録音時間（最長15分間）を変更して毎日タイマー録音を行うこともできます。

（*）この時間帯は高層気象の放送が行なわれています。ただし、時期によっては放送が行なわれなかったり、放送時間が変更になる場合があります。タイマーを使用するときは、あらかじめ新聞のラジオ番組表などで放送の時間を確認してください。

タイマー録音をしないときは、必ずタイマーをオフにしてください。タイマーがオンになっていると毎日タイマー録音を実行します。

タイマー録音のオン/オフのしかた ㉔

- 時刻はあらかじめ合わせてください。
- タイマーの設定を変更して、タイマー録音するときは、あらかじめタイマーの設定変更を行ってください。

1 電源をオンにする

2 MODE(モード) キーを押して、"AUTO(オート)"（タイマー設定モード）を選ぶ

- キーを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

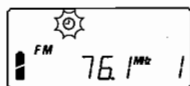
① "AUTO" 点滅（タイマー設定モード）
② "BEEP" 点滅（操作音設定モード）
③ "APS" 点滅（オートパワーセーブ設定モード）
④ラジオ受信周波数表示（設定モード解除）

3 タイマー（⊙）キーを押して、タイマーをオンまたはオフにする

- キーを押すたびに、オンとオフが切り換わります。

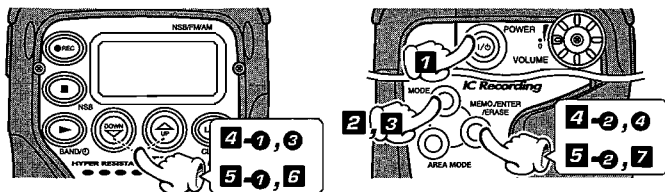
① "⊙" 表示 消灯（タイマーオフ）
② "⊙" 表示 点滅（タイマーオン）

4 ENTER(エンター) キーを押して、確定する

- 設定が確定し、ラジオの受信状態に戻ります。
- タイマーをオンにすると、"⊙"表示が点灯します。
- タイマーをオンにしても、タイマー録音する放送局以外の放送局を聴くことができます(タイマー録音開始時間になるとタイマー録音する放送局に切り換わり録音を実行します)。

タイマー録音の設定変更のしかた ㉕

タイマーの設定を変更して録音するときは、次の方法で開始時間、録音時間、放送局の設定を行ってください。

- 時刻はあらかじめ合わせてください。
- FM、AM放送を録音するときは、エリアプリセットまたはユーザープリセットで録音する放送局を選局できるように、あらかじめプリセットを行ってください。
- エリア設定でエリア番号"42"（JR新幹線車内放送受信）が選ばれているときは、タイマーで録音できるのはNSB1、NSB2、JR新幹線車内放送のみとなります。
- エリア設定でエリア番号"43"（船舶気象通報放送受信）が選ばれているときは、タイマーで録音できるのはNSB1、NSB2、船舶気象通報のみとなります。
- エリア設定でエリア番号"44"、"45"（マニュアル選局モード）が選ばれているときは、タイマーで録音できるのはNSB1、NSB2、マニュアル選局で受信したFM、AM放送のみとなります。録音する放送を受信してから、手順2～5の操作を行ってください。手順5-❷のENTER キーを押すとタイマーの設定が完了し、タイマーがオンになります。ラジオの受信状態に戻ります。

4-❶,❸ 5-❶,6 1 2,3 4-❷,❹ 5-❷,7

1 電源をオンにする

2 MODE キーを押して、"AUTO"（タイマー設定モード）を選ぶ

- キーを押たびに、次のように表示が切り換わります。

① "AUTO" 点滅（タイマー設定モード）
② "BEEP" 点滅（操作音設定モード）
③ " APS" 点滅（オートパワーセーブ設定モード）
④ラジオ受信周波数表示（設定モード解除）

3 MODE キーを2秒以上押して、時間の設定モードにする

- 時間表示が点滅し、録音開始時間の設定モードになります。

4 録音開始時間を設定する

❶ UP、DOWN キーで、"時"を設定する
- 時間表示は、12時間表示で表示します。

❷ ENTER キーを押す

❸ UP、DOWN キーで、"分"を設定する

❹ ENTER キーを押す
- 録音開始時間の設定が完了します。

録音開始時間
［例］午後7時30分

- UP キーを押すと時間が進み、DOWN キーを押すと戻ります。押しつづけると、連続的に変わります。

5 録音時間を設定する

❶ UP、DOWN キーで録音時間を設定する
- 録音時間は、1分刻みで設定できます。

❷ ENTER キーを押す
- 録音時間の設定が完了します。

録音時間表示
［例］録音時間11分

- タイマーによる録音時間は、最長15分まで設定できます。ただしタイマー録音開始時点での録音可能な時間（残量時間）が、タイマーで設定した録音時間より少ないときには、すでに録音されている全てのラジオ放送の録音を消去して、設定した時間のタイマー録音を実行します（19件の録音内容がすでにあるときも同様に、全てのラジオ放送の録音を消去して、タイマー録音を実行します）。

6 UP、DOWN キーを押して、録音する放送局を選ぶ

- キーを押すたびに、NSB放送局、エリア、ユーザプリセットにプリセットされたFM放送局、エリア、ユーザプリセットにプリセットされたAM放送局に次々と切り換わります。
- エリア設定でエリア番号"42"、"43"が選ばれていると、キーを押して選ぶことができるのは、NSB放送局およびエリアプリセットに記憶されている放送局のみです。

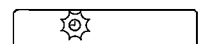
7 ENTER キーを押して確定する

- タイマーの設定が完了し、タイマーがオンになります。ラジオの受信状態に戻ります。

- 録音と同時に放送を聴かないときは、音量をしぼります。
- FM(TV)放送をタイマー録音するときは、必ずヘッドホンコードは接続し、コードはなるべく伸ばした状態にしてください。ヘッドホンコードはFMアンテナを兼ねています。
- 途中で設定をやめるには、手順7のENTER キーを押す前に、POWER キーを押してください。電源はオフの状態になります。
- 設定の確認をするには、上記の手順1～5をUP、DOWN キーの操作をしないで行ってください。最後にPOWER キーを押してください。電源はオフの状態になります。エリア設定でエリア番号"44"、"45"（マニュアル選局モード）でタイマー録音を設定しているときは、この操作を行わないでください。タイマー録音の設定が変わることがあります。
- ラジオ放送受信中でも、タイマー録音開始時間になるとタイマー録音する放送局に切り換わり録音を実行します。タイマー録音を中止しラジオ放送を聴くときは、停止（■）キーを押して録音を中止して、放送局の選局をやり直してください。
- 通常の録音操作で録音中または再生中はタイマー録音は実行されません。
- タイマーがオンになっていても、通常の録音操作でできるラジオ放送の録音は、残量時間内で録音できます。

タイマーオン、録音中の表示について ㉖

タイマーオン

電源がオンのときは、" ⊙ "表示が点灯します。
タイマーをオフにすると" ⊙ "表示は消灯します。

タイマー録音

録音中は、残量時間とインデックス番号を表示します。

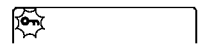
残量時間
インデックス番号

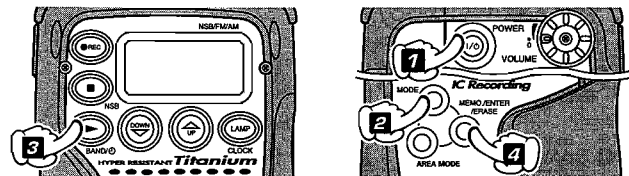
便利な機能

誤操作を防ぐために（HOLD） ㉗

電源を切って持ち歩くときや電車の中で聴くときなど、誤ってキーが押されても動作しないようにすることができます。ホールドにするとキー操作はできなくなります。操作を行うときは、必ずホールドは解除してください。VOLUMEつまみ、スピーカー/ヘッドホン切り換えスイッチ、NOISE CUT スイッチはホールドにすることはできません。

ホールドにすると、動作中" ⊶ "表示が点灯します。電源がオンまたはオフのときにPOWER キーを押すと、表示部に "HOLd" と表示されます。

ホールドにする　ホールドを解除する

操作音（BEEP）のオン/オフのしかた ㉘

操作音を鳴らしたり（オン）、消したり（オフ）することができます。お買い上げいただいたときは、オンに設定されています。

1 電源をオンにする

2 MODE キーを押して、"BEEP"（操作音設定モード）を選ぶ

- キーを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

① "AUTO" 点滅（タイマー設定モード）
② "BEEP" 点滅（操作音設定モード）
③ " APS" 点滅（オートパワーセーブ設定モード）
④ラジオ受信周波数表示（設定モード解除）

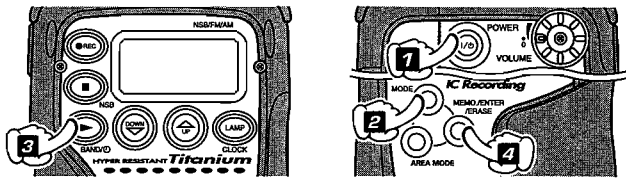
3 再生（▶）キーを押して、操作音をオンまたはオフにする

- キーを押たびに、オンとオフが切り換わります。

① "BEEP On" 点滅（操作音オン）
② "BEEP OF" 点滅（操作音オフ）

4 ENTER キーを押して、確定する

オートパワーセーブ機能について (AUTO POWER SAVE) ㉙

電源の切り忘れなど、電池のむだな消耗を防ぐために、オートパワーセーブをオンにすると、最後にキー操作を行ってから90分後、自動的に電源が切れます。録音時は、録音終了後90分後に電源が切れます。つづけて使用するときは、もう一度POWERキーを押して電源を入れてください。お買い上げいただいたときは、オートパワーセーブオフに設定されています。

1 電源をオンにする

2 MODEキーを押して、"APS"(オートパワーセーブ設定モード)を選ぶ

● キーを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

① "AUTO" 点滅 (タイマー設定モード)
② "BEEP" 点滅 (操作音設定モード)
③ " APS" 点滅 (オートパワーセーブ設定モード)
④ラジオ受信周波数表示 (設定モード解除)

3 再生 (▶) キーを押して、オートパワーセーブをオンまたはオフにする

● キーを押たびに、オンとオフが切り換わります。

① " APS OF" 点滅 (オートパワーセーブ オフ)
② " APS ON" 点滅 (オートパワーセーブ オン)

4 ENTERキーを押して、確定する

道路交通情報を聴く

道路交通情報は次の周波数で放送が行なわれています。ユーザープリセットにこの周波数をプリセットするか、マニュアル選局で周波数を合わせて受信してください(放送エリア外では受信できません)。

AM放送 .... 1620kHz、1629kHz

海外で使用する場合

AM放送の周波数のステップは、国や地域によって異なります。海外で使用する場合、AM放送の受信周波数ステップを切り換えお使いください。

代表例　東南アジア(一部地域を除く)、ヨーロッパ..... 周波数　9kHz　ステップ
　　　　北米、カナダ、中南米 .... 周波数　10kHz　ステップ

9kHz/10kHzステップの切り換えは、エリア設定でエリア番号"44"(マニュアル選局:9kHzステップ)または"45"(マニュアル選局:10kHzステップ)を選ぶことによって切り換わります。選局方法はマニュアル選局になります。詳しくは、「FM・TV(1ch～3ch)、AM放送を聴く」の"周波数を指定して選局する(マニュアル選局)"をお読みください。

● 本機のAM放送の受信周波数は、522 ～ 1629 kHz(9 kHzステップ)、530 ～ 1700 kHz(10 kHzステップ) です。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

もう一度お調べください

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	● 電池の入れかたが正しくない。 ● 電池が消耗している。 ● ホールド(誤操作防止)状態になっている。	● 電池の極性を確認の上、正しく電池を入れる。 ● 新しい電池に交換する。 ● ホールドを解除する。
音が聞こえない。	● 音量が最小になっている。 ● スピーカー/ヘッドホンの切り換えが正しく選択されていない。 ● ヘッドホンがはずれている。	● 音量を上げる。 ● スピーカー(SP)/ヘッドホン(HP)切り換えスイッチで正しく選択する。 ● しっかり差し込む。
キーを押しても操作ができない。	● ホールド(誤操作防止)状態になっている。 ● 電池が消耗している。	● ホールドを解除する。 ● 新しい電池に交換する。
突然電源が切れた。	● 電池が消耗している。 ● オートパワーセーブ機能が働いた。	● 新しい電池に交換する。 ● もう一度電源を入れる。
放送局が受信できない。	● ヘッドホンが接続されていない。 ● 放送バンドが合っていない。 ● 受信したい放送局の周波数に合っていない。	● FM(TV)放送を聴くときは、必ずヘッドホンを接続する。 ● 放送バンドを合わせる。 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。

症　状	原　因	処　置
エリアプリセット選局で、放送局が受信できない。	● エリア設定で、エリア番号が正しく選ばれていない。	● 使用される地域に合った、エリア番号を選ぶ。
雑音が入る。	● 電気器具の影響によるもの。 ● テレビが近くにある。	● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
タイマー録音でFM(TV)放送が録音できない。	● ヘッドホンが接続されていない。	● FM(TV)放送をタイマー録音するときは、必ずヘッドホンを接続し、なるべくコードを伸ばした状態にする。

メッセージー表示一覧

表　示	意　味	処　置
"CANt"	● NSBまたはテレビ放送の受信状態では、ユーザープリセットの設定モードにはならない。	● テレビ放送以外のFM放送またはAM放送の受信状態にする。
"FULL"(フル)	● 録音可能な時間(残量時間)またはインデックスが残っていない。	● すでに録音した内容を消去してから録音する。
"HOLd"(ホールド)	● ホールドになっている。	● ホールドを解除する。
"LO"(ロー)	● 電池が消耗している。	● 新しい電池に交換する。
"nonE"	● 録音した内容がないのに、再生または消去しようとしている。	● 故障ではありません。

セットのお手入れ

● 汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。
● 海水がついたときは、すぐに塩分や汚れを水道水で洗ってから水分をふき取ってください。
● ヘッドホンプラグは常にきれいにしておいてください。汚れがつくと雑音がでたりすることがあります。
● ヘッドホンの内部に水滴が入ると、音がこもって聞こえることがあります。このような場合ヘッドホンを軽く振り、水を切ってください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

1. **保証について**
   ● 保証書ー製品には保証書が(別途)添付されております。
   保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
   ● 保証期間ーお買い上げの日より1年間です。
   電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。
2. **修理に関するご相談ならびにご不明な点は**
   お買い上げの販売店または添付の「ケンウッドサービス網」に記載されている、当社サービス拠点にお問い合わせください。
3. **補修用性能部品の最低保有期間**
   ラジオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
4. **修理を依頼されるときは**
   「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、お買い上げの販売店または添付の「ケンウッドサービス網」に記載されている、当社サービス拠点にお問い合わせください。
   この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
   ● お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
   ● 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害
5. **アフターサービスについて**
   ● 保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理を受付させていただきます。防水性能を保つために、本機の修理は専門の座間テクニカルセンターにて行います。修理に多少お時間をいただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。修理に際しましては保証書をご提示ください。
   ● 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
   ● 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
   ● 修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
   ① 技術料　:故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
   ② 部品代　:修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
   ③ 出張料　:製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
   ● 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホン、など付属品も一緒にお持ちください。
6. **本機に添付の保証書は、日本国内においてのみ有効です。**
   ● **This warranty is valid only in Japan.**

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B59-1423-10 01 (A6 ORI)

ケンウッドサービス網
エリア別放送局一覧表

ケンウッドサービス網

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお申しつけください。

北海道		
札幌サービスセンター	〒007-0834 札幌市東区北34条東14丁目1-23	☎(011) 743-7740
帯広サービスステーション	〒080-2472 帯広市西22条南3-32-6	☎(0155) 33-0611
旭川サービスステーション	〒078-8235 旭川市豊岡五条7-35-1316	☎(0166) 32-4411
東北		
仙台サービスセンター	〒984-0042 仙台市若林区大和町5-32-12（サンライズ大和）	☎(022) 284-1171
青森サービスステーション	〒030-0821 青森市勝田1-19-4	☎(0177) 35-3431
八戸サービススポット	〒031-0072 八戸市城下4-19-8（テクニカルスタッフ八戸）	☎(0178) 45-8846
盛岡サービスセンター	〒020-0124 盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
郡山サービスステーション	〒963-0107 郡山市安積3-257	☎(024) 945-4721
山形サービスステーション	〒990-0034 山形市東原町3-9-8	☎(023) 623-7441
秋田サービスステーション	〒010-0877 秋田市千秋矢留町9-14	☎(018) 836-0131
関東・甲信越		
高崎サービスセンター	〒370-0073 高崎市緑町2-9-1	☎(027) 362-6211
水戸サービスステーション	〒311-4152 水戸市河和田3-2422-1	☎(029) 253-6711
宇都宮サービスステーション	〒321-0962 宇都宮市今泉町1639-3	☎(028) 638-3161
新潟サービスステーション	〒950-0923 新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
松本サービスステーション	〒390-0832 松本市南松本2-7-30（昭和ビル3F）	☎(0263) 26-7331
大宮サービスセンター	〒330-0033 大宮市本郷町258-1	☎(048) 664-3611
東京サービスセンター	〒153-0042 目黒区青葉台3-17-9	☎(03) 3477-5411
立川サービスステーション	〒190-0012 立川市曙町1-22-25（アバクス立川1F）	☎(042) 523-2151
千葉サービスセンター	〒261-7117 千葉市美浜区中瀬2-6（ワールドビジネスガーデン マリブイースト17F）	☎(043) 297-2311
柏サービスステーション	〒277-0081 柏市富里1-2-1	☎(0471) 63-1441
横浜サービスステーション	〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-5-2（ナイスアーバン東神奈川1F）	☎(045) 312-4481
神奈川中央サービスセンター	〒228-0012 座間市広野台2-8-21	☎(046) 256-9681
中部		
名古屋サービスセンター	〒462-0861 名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
津サービスステーション	〒514-0042 津市新町2-10-29（新町オフィスビル1F）	☎(059) 222-4360
静岡サービスセンター	〒420-0816 静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-7611
金沢サービスセンター	〒920-0064 金沢市南新保町ト-44	☎(076) 265-5045
岡崎サービスステーション	〒444-0011 岡崎市欠町清水田20-25	☎(0564) 23-2686
近畿		
大阪サービスセンター	〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル3F）	☎(06) 6352-1055
京都サービスステーション	〒612-8374 京都市伏見区治部町56-1	☎(075) 603-7750
神戸サービスステーション	〒650-0024 神戸市中央区海岸通2-2-3（サンエービルディング東館4F）	☎(078) 333-1743
中国・四国		
広島サービスセンター	〒733-0013 広島市西区横川新町14-12（第三山本ビル）	☎(082) 293-0310
徳山サービスステーション	〒745-0066 徳山市岡田町212	☎(0834) 31-1311
岡山サービスステーション	〒700-0953 岡山市西市308-6	☎(086) 241-8037
高松サービスセンター	〒760-0068 高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
松山サービスステーション	〒791-8013 松山市山越4-11-2	☎(089) 925-5760
九州		
福岡サービスセンター	〒815-0035 福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
北九州サービスステーション	〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1-12-25	☎(093) 921-2771
熊本サービスステーション	〒862-0910 熊本市健軍本町29-3	☎(096) 368-4161
大分サービスステーション	〒870-0921 大分市萩原2-9-18	☎(097) 553-3207
宮崎サービスステーション	〒880-0803 宮崎市旭1-6-30（サニービル2F）	☎(0985) 26-1161
鹿児島サービスステーション	〒890-0056 鹿児島市下荒田2-20-1	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2227 宜野湾市宇地泊89	☎(098) 898-2255
相談室		
お客様相談室（東京）	〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9	☎(03) 3477-5335
お客様相談室（大阪）	〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）	☎(06) 6357-5335

- サービスセンター、サービスステーション、サービススポット　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- お客様相談室　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時20分から午後5時40分まで
  （サービスセンター、サービスステーションの名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。なお、表記住所、電話番号は、1999年10月現在のものです。）

エリア別放送局一覧表

1999 年 10 月現在

- 電波の弱い地域では放送局を受信できないことがあります。
- プリセットされているテレビ放送には、地域により放送が行なわれていないチャンネルもあります。

エリア番号	プリセット番号	FM・TV放送	MHz	AM放送	kHz
1 - 札幌	1	AIR - G'（エフエム北海道）	80.4	NHK 第一	567
	2	FM north wave	82.5	NHK 第二	747
	3	NHK-FM 札幌	85.2	HBC ラジオ（北海道放送）	1287
	4	TV 1 チャンネル		STV ラジオ（札幌テレビ放送）	1440
	5	TV 2 チャンネル			
	6	TV 3 チャンネル			
2 - 青森	1	エフエム青森	80.0	HBC ラジオ（北海道放送）	900
	2	NHK-FM 青森	86.0	NHK 第一	963
	3	TV 1 チャンネル		青森放送	1233
	4	TV 2 チャンネル		NHK 第二	1521
	5	TV 3 チャンネル			
3 - 秋田	1	Co - much FM（エフエム秋田）	82.8	NHK 第二	774
	2	NHK-FM 秋田	86.7	秋田放送	936
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第一	1503
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
4 - 盛岡	1	エフエム岩手	76.1	NHK 第一	531
	2	NHK-FM 盛岡	83.1	岩手放送	684
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1386
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
5 - 山形	1	Boy FM 山形（エフエム山形）	80.4	NHK 第一	540
	2	NHK-FM 山形	82.1	山形放送	918
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1521
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
6 - 仙台	1	Date fm（エフエム仙台）	77.1	NHK 第一	891
	2	NHK-FM 仙台	82.5	NHK 第二	1089
	3	TV 1 チャンネル		東北放送	1260
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
7 - 福島	1	ふくしまFM（エフエム福島）	81.8	NHK 第一	846
	2	NHK-FM 福島	85.3	ラジオ福島	1098
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第一	1323
	4	TV 2 チャンネル		ラジオ福島	1458
	5	TV 3 チャンネル		NHK 第二	1512
	6			NHK 第二	1602
8 - 宇都宮	1	RADIO BERRY（エフエム栃木）	76.4	NHK 第一	594
	2	放送大学	78.8	NHK 第二	693
	3	NHK-FM 宇都宮	80.3	TBS ラジオ	954
	4	NHK-FM 水戸	83.2	文化放送	1134
	5	FM GUNMA（エフエム群馬）	86.3	茨城放送	1197
	6	TV 1 チャンネル		ニッポン放送	1242
	7	TV 2 チャンネル		栃木放送	1530
	8	TV 3 チャンネル			
9 - 水戸	1	放送大学	78.8	NHK 第一	594
	2	NHK-FM 宇都宮	80.3	NHK 第二	693
	3	NHK-FM 水戸	83.2	TBS ラジオ	954
	4	FM GUNMA（エフエム群馬）	86.3	文化放送	1134
	5	TV 1 チャンネル		茨城放送	1197
	6	TV 2 チャンネル		ニッポン放送	1242
	7	TV 3 チャンネル			
10 - 前橋	1	放送大学	78.8	NHK 第一	594
	2	TOKYO FM（エフエム東京）	80.0	NHK 第二	693
	3	NHK-FM 前橋	81.6	AFN（旧 FEN）	810
	4	FM GUNMA（エフエム群馬）	86.3	TBS ラジオ	954
	5	TV 1 チャンネル		文化放送	1134
	6	TV 2 チャンネル		ニッポン放送	1242
	7	TV 3 チャンネル		ラジオ日本	1422
11 - 東京圏（東京）（横浜）（千葉）（浦和）	1	Inter FM（エフエムインターウェーブ）	76.1	NHK 第一	594
	2	放送大学	77.1	NHK 第二	693
	3	bayfm（エフエムサウンド千葉）	78.0	AFN（旧 FEN）	810
	4	FM-FUJI（エフエム富士）	78.6	TBS ラジオ	954
	5	NACK5（エフエム埼玉）	79.5	文化放送	1134
	6	TOKYO FM（エフエム東京）	80.0	ニッポン放送	1242
	7	J - WAVE（エフエムジャパン）	81.3	ラジオ日本	1422
	8	NHK-FM 東京	82.5		
	9	Fm yokohama（横浜エフエム放送）	84.7		
	10	TV 1 チャンネル			
	11	TV 2 チャンネル			
	12	TV 3 チャンネル			
12 - 甲府	1	FM-FUJI（エフエム富士）	83.0	YBS ラジオ（山梨放送）	765
	2	NHK-FM 甲府	85.6	NHK 第一	927
	3	TV 1 チャンネル		TBS ラジオ	954
	4	TV 2 チャンネル		文化放送	1134
	5	TV 3 チャンネル		ニッポン放送	1242
	6			NHK 第二	1602
13 - 松本	1	FM 長野	79.7	NHK 第一	540
	2	NHK-FM 長野	84.0	NHK 第一	819
	3	NHK-FM 長野	84.8	SBC ラジオ（信越放送）	864
	4	FM 長野	86.4	SBC ラジオ（信越放送）	1098
	5	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1467
	6	TV 2 チャンネル		NHK 第二	1512
	7	TV 3 チャンネル			
14 - 静岡	1	K-MIX（静岡エフエム放送）	79.2	NHK 第二	639
	2	NHK-FM 静岡	88.8	NHK 第一	882
	3	TV 1 チャンネル		TBS ラジオ	954
	4	TV 2 チャンネル		文化放送	1134
	5	TV 3 チャンネル		ニッポン放送	1242
	6			SBS ラジオ（静岡放送）	1404
15 - 名古屋圏（名古屋）（岐阜）	1	ZIP - FM（エフエム名古屋）	77.8	NHK 第一	729
	2	FM 三重	78.9	NHK 第二	909
	3	FM AICHI（エフエム愛知）	80.7	CBC ラジオ	1053
	4	NHK-FM 津	81.8	東海ラジオ	1332
	5	NHK-FM 名古屋	82.5	岐阜放送	1431
	6	NHK-FM 岐阜	83.6		
	7	TV 1 チャンネル			
	8	TV 2 チャンネル			
	9	TV 3 チャンネル			
16 - 津	1	ZIP - FM（エフエム名古屋）	77.8	NHK 第一	729
	2	FM 三重	78.9	NHK 第二	909
	3	FM AICHI（エフエム愛知）	80.7	CBC ラジオ	1053
	4	NHK-FM M津	81.8	東海ラジオ	1332
	5	NHK-FM 名古屋	82.5		
	6	TV 1 チャンネル			
	7	TV 2 チャンネル			
	8	TV 3 チャンネル			

裏面につづく

エリア別放送局一覧表

エリア番号	プリセット番号	FM・TV放送	MHz	AM放送	kHz
17 - 新潟	1	FM 新潟	77.5	NHK 第一	837
	2	NHK-FM 新潟	82.3	新潟放送	1116
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1593
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
18 - 冨山	1	NHK-FM 富山	81.5	NHK 第一	648
	2	FM とやま	82.7	北日本放送	738
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1035
	4	TV 2 チャンネル		北陸放送	1107
	5	TV 3 チャンネル			
19 - 金沢	1	HELLOW FIVE（エフエム石川）	80.5	北陸放送	1107
	2	NHK-FM 金沢	82.2	NHK 第一	1224
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1386
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
20 - 福井	1	FM 福井	76.1	FBC ラジオ（福井放送）	864
	2	NHK-FM 福井	83.4	NHK 第一	927
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1521
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
21 - 大津	1	FM CO・CO・LO（関西インターメディア）	76.5	AM KOBE	558
	2	E-Radio（エフエム滋賀）	77.0	NHK 第一	666
	3	FM 802	80.2	NHK 第二	828
	4	NHK-FM 京都	82.8	ABC ラジオ	1008
	5	NHK-FM 大津	84.0	KBS 京都	1143
	6	fm osaka（エフエム大阪）	85.1	MBS ラジオ	1179
	7	NHK-FM 大阪	88.1	ラジオ大阪	1314
	8	α-STATION（エフエム京都）	89.4		
	9	TV 1 チャンネル			
	10	TV 2 チャンネル			
	11	TV 3 チャンネル			
22 - 奈良	1	FM CO・CO・LO（関西インターメディア）	76.5	AM KOBE	558
	2	FM 802	80.2	NHK 第一	666
	3	NHK-FM 京都	82.8	NHK 第二	828
	4	fm osaka（エフエム大阪）	85.1	ABC ラジオ	1008
	5	NHK-FM 奈良	87.4	KBS 京都	1143
	6	NHK-FM 大阪	88.1	MBS ラジオ	1179
	7	α-STATION（エフエム京都）	89.4	ラジオ大阪	1314
	8	TV 1 チャンネル			
	9	TV 2 チャンネル			
	10	TV 3 チャンネル			
23 - 和歌山	1	FM CO・CO・LO（関西インターメディア）	76.5	AM KOBE	558
	2	FM 802	80.2	NHK 第一	666
	3	NHK-FM 和歌山	84.7	NHK 第二	828
	4	fm osaka（エフエム大阪）	85.1	ABC ラジオ	1008
	5	NHK-FM 大阪	88.1	MBS ラジオ	1179
	6	TV 1 チャンネル		ラジオ大阪	1314
	7	TV 2 チャンネル		和歌山放送	1431
	8	TV 3 チャンネル			
24 - 大阪 神戸 京都	1	FM CO・CO・LO（関西インターメディア）	76.5	AM KOBE	558
	2	FM 802	80.2	NHK 第一	666
	3	NHK-FM 京都	82.8	NHK 第二	828
	4	fm osaka（エフエム大阪）	85.1	ABC ラジオ	1008
	5	NHK-FM 神戸	86.5	KBS 京都	1143
	6	NHK-FM 大阪	88.1	MBS ラジオ	1179
	7	α-STATION（エフエム京都）	89.4	ラジオ大阪	1314
	8	Kiss-FM KOBE（兵庫エフエムラジオ放送）	89.9		
	9	TV 1 チャンネル			
	10	TV 2 チャンネル			
	11	TV 3 チャンネル			
25 - 鳥取	1	FM 山陰	78.8	BSS ラジオ（山陰放送）	900
	2	NHK-FM 鳥取	85.8	NHK 第二	1125
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第一	1368
	4	TV 2 チャンネル		BSS ラジオ（山陰放送）	1431
	5	TV 3 チャンネル			
26 - 松江	1	V-air（エフエム山陰）	77.4	BSS ラジオ（山陰放送）	900
	2	NHK-FM 松江	84.5	NHK 第一	1296
	3	TV 1 チャンネル		BSS ラジオ（山陰放送）	1431
	4	TV 2 チャンネル		NHK 第二	1593
	5	TV 3 チャンネル			
27 - 広島	1	広島 エフエム	78.2	NHK 第二	702
	2	NHK-FM 広島	88.3	山口放送	918
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第一	1071
	4	TV 2 チャンネル		南海放送	1116
	5	TV 3 チャンネル		RCC ラジオ（中国放送）	1350
	6			AFN（旧 FEN）	1575
28 - 山口	1	FM 山口	79.2	NHK 第一	675
	2	NHK-FM 山口	85.3	山口放送	765
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1377
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
29 - 岡山 高松	1	FM 岡山	76.8	AM KOBE	558
	2	FM 香川	78.6	NHK 第一	603
	3	NHK-FM 高松	86.0	ABC ラジオ	1008
	4	NHK-FM 岡山	88.7	MBS ラジオ	1179
	5	TV 1 チャンネル		NHK 第一	1368
	6	TV 2 チャンネル		NHK 第二	1386
	7	TV 3 チャンネル		西日本放送	1449
	8			山陽放送	1494
30 - 徳島	1	FM 徳島	80.7	AM KOBE	558
	2	NHK-FM 徳島	83.4	NHK 第二	828
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第一	945
	4	TV 2 チャンネル		ABC ラジオ	1008
	5	TV 3 チャンネル		MBS ラジオ	1179
	6			四国放送	1269
	7			ラジオ大阪	1314
31 - 松山	1	FM 愛媛	79.7	NHK 第一	963
	2	NHK-FM 松山	87.7	南海放送	1116
	3	TV 1 チャンネル		RCC ラジオ（中国放送）	1350
	4	TV 2 チャンネル		NHK 第二	1512
	5	TV 3 チャンネル			
32 - 高知	1	FM 高知	81.6	高知放送	900
	2	NHK-FM 高知	87.5	NHK 第一	990
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1152
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
33 - 福岡	1	Love FM（九州国際エフエム）	76.1	NHK 第一	612
	2	FM 佐賀	77.9	NHK 第二	1017
	3	CROSS FM（エフエム九州）	78.7	RKB ラジオ（毎日放送）	1278
	4	Beat Station（エフエム福岡）	80.7	KBC ラジオ（九州朝日放送）	1413
	5	NHK-FM 佐賀	81.6		
	6	NHK-FM 福岡	84.8		
	7	TV 1 チャンネル			
	8	TV 2 チャンネル			
	9	TV 3 チャンネル			
34 - 北九州	1	CROSS FM（エフエム九州）	77.0	NHK 第一	540
	2	FM 山口	77.7	KBC ラジオ（九州朝日放送）	720
	3	Beat Station（エフエム福岡）	80.0	山口放送	918
	4	NHK-FM 北九州	85.7	RKB ラジオ（毎日放送）	1197
	5	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1602
	6	TV 2 チャンネル			
	7	TV 3 チャンネル			
35 - 佐賀	1	FMK（エフエム中九州）	77.4	NHK 第二	873
	2	FM 佐賀	77.9	NHK 第一	963
	3	CROSS FM（エフエム九州）	78.7	熊本放送	1197
	4	Beat Station（エフエム福岡）	80.7	RKB ラジオ（毎日放送）	1278
	5	NHK-FM 佐賀	81.6	KBC ラジオ（九州朝日放送）	1413
	6	TV 1 チャンネル		長崎放送	1458
	7	TV 2 チャンネル			
	8	TV 3 チャンネル			
36 - 長崎	1	SMILE FM（エフエム長崎）	79.5	NHK 第一	684
	2	NHK-FM 長崎	84.5	長崎放送	1233
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1377
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
37 - 大分	1	AIR RADIO（エフエム大分）	88.0	NHK 第一	819
	2	NHK-FM 大分	88.9	大分放送	1098
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1467
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
38 - 熊本	1	FMK（エフエム中九州）	77.4	NHK 第一	756
	2	FM 佐賀	77.9	NHK 第二	873
	3	CROSS FM（エフエム九州）	78.7	NHK 第一	963
	4	Beat Station（エフエム福岡）	80.7	熊本放送	1197
	5	NHK-FM 佐賀	81.6	RKB ラジオ（毎日放送）	1278
	6	NHK-FM 福岡	84.8	KBC ラジオ（九州朝日放送）	1413
	7	NHK-FM 熊本	85.4		
	8	TV 1 チャンネル			
	9	TV 2 チャンネル			
	10	TV 3 チャンネル			
39 - 宮崎	1	JOY-FM（エフエム宮崎）	83.2	NHK 第一	540
	2	ＮＨＫ－ＦＭ宮崎	86.2	MRT ラジオ（宮崎放送）	936
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1467
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
40 - 鹿児島	1	μFM（エフエム鹿児島）	79.8	NHK 第一	576
	2	NHK-FM 鹿児島	85.6	MBC ラジオ（南日本放送）	1107
	3	TV 1 チャンネル		NHK 第二	1386
	4	TV 2 チャンネル			
	5	TV 3 チャンネル			
41 - 那覇	1	FM 沖縄	87.3	NHK 第一	549
	2	NHK-FM 沖縄	88.1	AFN（旧 FEN）	648
	3	TV 1 チャンネル		琉球放送	738
	4	TV 2 チャンネル		ラジオ沖縄	783
	5	TV 3 チャンネル		NHK 第二	1125
42 - JR（新幹線車内放送）	1	1 チャンネル	76.0		
	2	2 チャンネル	76.6		
	3	3 チャンネル	77.5		
	4	4 チャンネル	78.8		
	5	5 チャンネル	79.6		
	6	6 チャンネル	80.4		
	7	7 チャンネル	81.0		
43 - 船舶気象通報	1	船舶気象通報（AM 放送）			

エリア番号44 - マニュアル選局	AM 放送受信周波数 9 kHz ステップ
エリア番号45 - マニュアル選局	AM 放送受信周波数 10 kHz ステップ

JR新幹線の車内FM放送サービスは、新幹線の路線により放送されているチャンネルが異なります。また車両によっては実施されていない場合があります。

ENGLISH DEUTSCH FRANÇAIS ESPAÑOL

KENWOOD CORPORATION

B60-4319-10 01 (JA) (J) (AP) 9811

OUTDOOR RADIO

ODR-01

OPERATING INSTRUCTIONS

Please refer to the illustrations in the Japanese instruction when operating this unit. The numbers which appear at the end of each title are corresponded on each language.

Loading the battery ①

Use a CR123A (CR17345) lithium battery to power the ODR-01.
The included lithium battery is in the spare battery case.
Slide the lock lever while pressing the battery cover as shown in the diagram to lock and unlock the cover.

❶ **Unlock and open the battery cover.**
❷ **Insert the battery.**
- Load the battery in the proper direction, as indicated by the "⊕" and "⊖" marks.

❸ **Close and lock the battery cover.**

Remaining battery power display ②

The remaining battery power display changes in the order A → B → C to indicate the remaining battery power.

Display A (lit)
There is plenty of power remaining in the battery.

Display B (flashing)
The display changes to display B when the remaining battery power gets low. Replace the old battery with a new one.

Display C (flashing)
The display changes to display C when the battery is spent. The power turns off if the unit is operating, and no keys will function if the power is off.

Setting the clock ③

Turn the power off when setting the clock. If the power is on, press the POWER key to turn the power off.

1. ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key.***
2. ***Set the hours.***
   ❶ **Use the UP and DOWN keys to set the hours.**
   ❷ **Press the MEMO./ENTER/ERASE key to set the hours.**
3. ***Set the minutes.***
   ❶ **Use the UP and DOWN keys to set the minutes.**
   ❷ **Press the MEMO./ENTER/ERASE key to set the minutes.**

Clock display
If you want to check the time, turn the power off and press the **LAMP/CLOCK** key. The time is displayed for 5 seconds.
When the **LAMP/CLOCK** key is pressed, the display's back light turns on for 5 seconds.

Switching between the speaker and headphone and adjusting the volume

Switching between the speaker and headphone ④
The sound can be listened to over the built-in speaker or the included headphone. Switch between them using the speaker (SP)/headphone (HP) selector switch.

Always connect the headphone when listening to FM or TV (channels 1 to 3) broadcasts, even when using the built-in speaker. The headphone cord also serves as the FM antenna.

Adjusting the volume ⑤
Use the **VOLUME** control to adjust the volume.

Listening to FM, TV (channels 1 to 3) and AM broadcasts ⑥

Select the station stored in the memory using the preset function described below to tune in that station.

■ **Area preset (area preset tuning)**
The memory of the ODR-01 stores the frequencies of major broadcasting stations of each local area in Japan. By selecting an area (area number setting), the local stations providing broadcasting in the selected area are preset automatically as the area preset stations.
- Only broadcast stations in Japan are stored in the memory of this unit.

■ **User preset**
Up to nine stations each for the AM and FM bands can be preset in this way.
- Only stations with a channel space of 9 kHz for the AM band and can be preset.

NOTE
In addition to preset tuning, stations can also be tuned in by specifying the frequency (manual tuning).
For instructions, refer to "**Manual tuning**⑫".
Also use manual tuning to tune in stations when using the ODR-01 outside of Japan.

Area preset tuning (listening to stations stored in the radio's memory) ⑦

Selecting the area number ⑧
Select the area number of the area where the unit is used to set the local stations as the area preset stations.

Turn the power off.

1. ***Press the AREA MODE key for at least 2 seconds to set the area number setting mode.***
2. ***Use the UP and DOWN keys to select the area number.***
3. ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to set that area number.***

Tuning in stations (area preset tuning) ⑨

1. ***Turn on the power.***
2. ***Select the broadcast band.***
   Press the ►/BAND/⏻ key and select FM or AM.
   - The band switches between the FM (TV) and AM each time the key is pressed.
   - Select the FM band to listen to TV broadcasts (channels 1 to 3).
3. ***Use the UP and DOWN keys to select the station.***

User preset (storing stations in the memory) ⑩

1. ***Turn on the power.***
2. ***Select the broadcast band.***
   Press the **►/BAND/⏻** key and select FM or AM.
   ① "**FM**" lit (FM band set)
   ② "**AM**" lit (AM band set)
3. ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key for at least 2 seconds.***
   The frequency setting mode cannot be set if a TV broadcast is being received. Use the **UP** and **DOWN** keys to tune in an FM station other than a TV station, then press the **MEMO./ENTER/ERASE** key for at least 2 seconds.
4. ***Use the UP and DOWN keys to set the frequency of the station you want to preset.***
5. ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to set that frequency.***
6. ***Use the UP and DOWN keys to select the preset number.***
7. ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to complete the presetting.***
   - To preset another station, repeat the above procedure from step 2 or 3.

NOTES
- If a frequency is stored at a preset number at which a frequency has already been stored, the previous frequency is cleared and the new frequency is stored.
- If area number "42" (broadcasts inside JR Shinkansen trains), "43" (marine weather reports), or "44" or "45" (manual tuning mode) is selected with the area number setting operation, it is not possible to tune in stations using the user preset function or to add or change preset stations.

Tuning in preset stations ⑪
Stations stored in the user preset memory are tuned in the same way as stations stored in the area preset memory.

1. ***Turn on the power.***
2. ***Press the ►/BAND/⏻ key and select the band.***
3. ***Use the UP and DOWN keys to select the station.***

When stations are stored in the user preset memory, the stations stored in the user preset and area preset memories for the selected band change in the order of the preset numbers each time the **UP** or **DOWN** key is pressed and that station is tuned in.
- The "**MEMO.**" indicator lights when a station preset in the user preset memory is called out.

Manual tuning (tuning in stations by specifying the frequency) ⑫

Use manual tuning to tune in AM or FM stations by specifying their frequency and when using the ODR-01 outside of Japan. The manual tuning mode is set by selecting area number "44" or "45" with the area number setting operation.

■ **Manual tuning in Japan**
Select area number "44".

■ **Manual tuning outside of Japan**
For the AM band, the band's channel space differs from region to region. Select area number "44" when using the ODR-01 in regions where the channel space for the AM band is 9 kHz, area number "45" in regions where the channel space is 10 kHz. (The manual tuning mode is set.)

AM band channel space frequency in major regions.

Southeast Asia (excluding some regions), Europe
.... Channel space frequency - 9 kHz
U.S.A., Canada, Latin America
.... Channel space frequency - 10 kHz

When the manual tuning mode is set, tuning is not possible using the area preset and user preset memories.
- To set the radio back to the preset tuning mode, change the area number. (Set an area number other than "42", "43", "44" or "45".)
  The stations preset in the user preset memory remain in the memory even when the area number is changed.

1. ***Selecting area number "44" or "45" (manual tuning) with the area number setting operation.***
   Use the setting procedure described under "**Selecting the area number** ⑧" in the section "(Listening to FM, TV and AM broadcasts)" and select area number "44" or "45".

   Turn the power off.
   ❶ **Press the AREA MODE key for at least 2 seconds to set the area number setting mode.**
   ❷ **Use the UP and DOWN keys to select area number "44" or "45".**
   ❸ **Press the MEMO./ENTER/ERASE key to set that area number.**
2. ***Tuning***
   Turn on the power.
   ❶ **Press the ►/BAND/⏻ key and select the band.**
   ① "**FM**" lit (FM band set)
   ② "**AM**" lit (AM band set)
   ❷ **Use the UP and DOWN keys to set the frequency of the station you want to tune in.**

Auto tuning for FM stations
During the tuning operation, press the **UP** or **DOWN** key for 2 seconds then release it. Tuning starts automatically and stops when a station is tuned in. Repeat this to tune in the next station. If no station is tuned in after several seconds, either the radio signals are too weak or there are no receivable stations. Press either the **UP** or **DOWN** key to stop auto tuning.
- The reception frequency range for the AM band on the ODR-01 is 522 to 1629 (in 9 kHz steps) or 530 to 1700 kHz (in 10 kHz steps).

Listening to NSB (Nihon Short-wave Broadcasting) broadcasts ⑬

1. ***Turn on the power.***
2. ***Selecting NSB1 or NSB2***
   Press the **■/NSB** key and select NSB1 or NSB2.
   ① "1" lit ... NSB1 set
   ② "2" lit ... NSB2 set
   - NSB broadcasts are broadcast in Japan only. They cannot be received outside of their broadcast area.

Improving reception ⑭

Noise cut function

Set the **NOISE CUT** switch to "**ON**" if the signal is weak and there is much noise in the sound. Doing so reduces noise and makes the sound clearer.
Note that depending on the reception conditions the noise cut function may not effectively reduce noise.

Adjusting the direction of the antenna

For FM and TV broadcasts
The headphone cord also functions as the antenna. Stretch the cord out to receive broadcasts clearly.

For AM and NSB broadcasts
The ODR-01 is equipped with a built-in bar antenna. The direction of the antenna affects the reception. Change the direction of the radio itself and set it in the direction in which reception is best.

Recording (IC Recording) ⑮

The IC recording function can be used to record radio broadcasts for up to 15 minutes and the sound over the built-in microphone for up to 1 minute.

Recording radio broadcasts ⑯

1. ***Tune in the station to be recorded.***
2. ***Press the REC key for at least 1 second to start recording.***
   - When recording starts, the recordable time (remaining time) and index number appear on the display.
   - The ODR-01 uses two IC memories for extended radio recording. Because of this, the sound is interrupted momentarily (for about 0.5 seconds) when switching from one IC memory to the other one. The IC memories switch when the remaining time display reaches "7:00" (7 minutes).
3. ***Press the ■/NSB key to stop recording.***

Recording over the microphone ⑰

Turn the power off.

1. ***Press the REC key for at least 1 second to start recording.***
   - When the key is pressed and "**REC**" lights on the display, talk into the microphone from a distance of about 10 cm (4").
   - During recording, the recordable time (remaining time) and index number are shown on the display.
2. ***Press the ■/NSB key to stop recording.***

Indexes and recording time
When the **REC** key is pressed and recording starts, the index is written automatically and the index number appears on the display. The index number increases by one each time the recording operation is performed. A maximum of 19 recordings of radio broadcasts (up to index number 19) and 10 recordings over the microphone (up to index number 10) can be made.

The ODR-01 processes the recording times of each index in units of 30 seconds for recordings of radio broadcasts and in units of 6 seconds for recordings made using the microphone. If for example the remaining time is 5 minutes, 50 seconds when the recording of a radio broadcast is stopped, the recordable time (remaining time) for the next recording will be 5 minutes, 30 seconds.

If "FULL" is displayed
If "**FULL**" flashes on the display when the **REC** key is pressed, either the recordable time (remaining time) is up or the maximum number of indexes has been reached. Erase a previous recording in order to record again.

Playing recordings ⑱

Playing the recording last made

If for example you want to check the recording you have just made, whether of a radio broadcast or using the microphone, use the operation described below to play the recording that was last made.

Turn the power off.

Press the ►/BAND/⏲ key to start playback.

Display during playback
The currently playing index number and the elapsed time from the beginning of the index are shown on the display.

Playing by selecting an index number (19)

Turn the power off.

1 ***Set the play pause mode.***

1 **Press the ►/BAND/⏲ key to set the play mode.**
2 **Press the ►/BAND/⏲ key again to set the play pause mode.**

> **If nothing is recorded, "NONE" flashes on the display when the key is pressed.**

2 ***Use the UP and DOWN keys to select the index number to be played.***

- Press the UP key to increase the index number.
- Press the DOWN key once to return to the beginning of the index at which the play pause mode is set.
  Press the DOWN key twice continuously to decrease the index number.
- When the keys are operated, the radio broadcast and microphone recordings switch consecutively in the order of the index numbers.
  "RADIO" is displayed when an index number of radio broadcast recording is selected, and "MIC" is displayed when that of microphone recording is selected.

3 ***Press the ►/BAND/⏲ key to start playback.***

Stopping or pausing playback
- Press the ■/NSB key to stop playback.
- To pause playback, press the ►/BAND/⏲ key once. To resume playback, press the ►/BAND/⏲ key again.

Skip playback
The time display increases when the UP key is pressed during playback and decreases when the DOWN key is pressed. (The time changes in steps of 30 seconds for recordings of radio broadcasts and 6 seconds for recordings made using the microphone.) Playback resumes from the indicated time.

Erasing recordings (20)

There are two ways to erase recordings.

All erase (21)

All the recordings of radio broadcasts or recordings made using the microphone are erased at once.

Turn the power off.

1 ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key for at least 2 seconds to set the erase mode.***

2 ***Press the MODE key to select the type of recording to be erased.***

- (1) "RADIO" flashing (Erasing of radio broadcast recordings)
- (2) "MIC" flashing (Erasing of microphone recordings)

3 ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to erase the recording.***

> **If nothing is recorded, "NONE" flashes on the display when the key is pressed.**

- If you wish to cancel the erasing procedure in the middle of the operation, press the ■/NSB key before pressing the MEMO./ENTER/ERASE key in step **3**.

Index erase (22)

Only the recording at selected index is erased.

1 ***Set the play pause mode at the index you wish to erase.***

For detailed instructions, refer to "**Playing by selecting an index number** (19)".

1 **Turn the power off.**
2 **Press the ►/BAND/⏲ key to set the play mode.**
3 **Press the ►/BAND/⏲ key again to set the play pause mode.**
4 **Use the UP and DOWN keys to select the index number you wish to erase. "RADIO" is displayed when an index number of radio broadcast recording is selected, and "MIC" is displayed when that of microphone recording is selected.**

2 ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to set the erase mode.***

3 ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to erase the recording.***

- When the key is pressed, the recording at the selected index number is erased.
- After the recording is erased, the play pause mode is set at the index following the index that has been erased. (When the last index number has been erased, the play pause mode is set at the index before the index that has been erased. When all the indexes have been erased, the power turns back off.)
- If you wish to erase the recordings at other index numbers, use the UP and DOWN keys to select the index number you wish to erase, then perform steps **2** and **3**.
- When indexes are erased using the index erase function, the index numbers after the erased index are all decreased by one.

4 ***Press the ■/NSB key to cancel the erase mode.***

- The power turns back off.

NOTE
- If you wish to cancel the erasing procedure in the middle of the operation, press the ■/NSB key before pressing the MEMO./ENTER/ERASE key in step **3**.

Using the timer recording function (AUTO WEATHER TIMER) (23)

The ODR-01 is equipped with a function for timer recording of radio broadcasts.

> **The ODR-01 is set to record the NSB1 broadcast for 15 minutes starting from 5:20 a.m.. If the timer is turned on, timer recording is performed every day.**
> **It is also possible to perform timer recording every day with other broadcast stations, starting times and recording times. (The maximum recording time is 15 minutes.)**
> **Be sure to turn the timer off if you do not wish to perform timer recording. If the timer is on, timer recording will be performed every day.**

Turning timer recording on and off (24)

Set the clock beforehand.

1 ***Turn on the power.***

2 ***Press the MODE key and select "AUTO" (timer setting mode).***

- (1) "AUTO" flashing
- (2) "BEEP" flashing
- (3) "APS" flashing
- (4) Radio frequency display (Setting mode off)

3 ***Press the ►/BAND/⏲ key to turn the timer on or off.***

- (1) "⏲" indicator off (Timer off)
- (2) "⏲" indicator flashing (Timer on)

4 ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to enter the setting.***

- When the timer is on, the "⏲" indicator is lit.
- Even when the timer is on, you can listen to broadcast stations other than the broadcast station set for timer recording.

Modifying the timer recording setting (25)

To record using different timer settings, use the procedure described below to set the start time, recording time and broadcast station.

- Set the clock beforehand.
- To record AM or FM broadcasts, preset the station you wish to record beforehand so that it can be selected using the area preset or user preset function.
- When area "44" or "45" (manual tuning mode) is selected with the area number setting operation, only NSB1, NSB2 and AM and FM broadcasts tuned in manual can be recorded with the timer. After tuning in the radio station to be recorded, perform operations in steps **2** to **5** below. When the ENTER key is pressed in step **5**-**2**, the timer setting is completed and activated.

1 ***Turn on the power.***

2 ***Press the MODE key and select "AUTO" (timer setting mode).***

- (1) "AUTO" flashing
- (2) "BEEP" flashing
- (3) "APS" flashing
- (4) Radio frequency display (Setting mode off)

3 ***Press the MODE key for at least 2 seconds to set the time setting mode.***

4 ***Set the recording start time.***

1 **Use the UP and DOWN keys to set the hours.**
2 **Press the MEMO./ENTER/ERASE key.**
3 **Use the UP and DOWN keys to set the minutes.**
4 **Press the MEMO./ENTER/ERASE key.**

5 ***Set the recording time.***

1 **Use the UP and DOWN keys to set the recording time.**
- The recording time can be set in units of 1 minute.

2 **Press the MEMO./ENTER/ERASE key.**
- The recording time for timer recording can be set to up to 15 minutes. However, if the remaining time at the point when the timer start time is reached is shorter than the recording time set with the timer, all previously recorded radio broadcasts are erased so that timer recording can be performed for the set time.

6 ***Use the UP and DOWN keys to select the broadcast station to be recorded.***

- Each time the key is pressed, the station switches between the NSB broadcast stations, the FM stations preset with the area and user preset functions and the AM stations preset with the area and user preset functions.

7 ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to enter the setting.***

- The timer settings are completed and the timer turns on.

NOTES
- To cancel the settings in the middle of the operation, press the **POWER** key before pressing the **MEMO./ENTER/ERASE** key at step **7**. The power turns off.
- To check the settings, perform steps **3** to **5** above without pressing the **UP** and **DOWN** keys, then press the **POWER** key. The power turns off. Do not perform this operation if timer recording has been set in the manual tuning mode.
- If the timer recording start time is reached while a radio broadcast is being received, the station switches to the station to be recorded with timer recording and recording starts. To cancel timer recording and listen to the radio broadcast, press the ■/NSB key to stop recording then tune the station back in.
- Timer recording is not performed if the timer recording start time is reached during recording or playback with the normal recording operation.
- Even if the timer is on, recordings of radio broadcasts that can be recorded with the normal recording operation can be recorded within the remaining time.

Display when the timer is on and during recording (26)

Timer on
The "⏲" indicator is lit when the power is on.

Timer recording
During recording, the remaining time and index number are displayed.

Convenient functions

Avoiding faulty operation (HOLD) (27)

When the hold mode is set, the keys will not operate. Be sure to release the hold mode if you wish to operate the keys.

Turning the operating sound on and off (BEEP) (28)

1 ***Turn on the power.***

2 ***Press the MODE key and select "BEEP" (operating sound setting mode).***

- (1) "AUTO" flashing
- (2) "BEEP" flashing
- (3) "APS" flashing
- (4) Radio frequency display (Setting mode off)

3 ***Press the play ►/BAND/⏲ key to turn the beep on or off.***

- (1) "BEEP On" flashing (Operating sound on)
- (2) "BEEP OF" flashing (Operating sound off)

4 ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to enter the setting.***

Auto power save function (AUTO POWER SAVE) (29)

When the auto power save function is turned on, the power automatically turns off 90 minutes after the last time a key is operated in order to prevent unnecessary wear of the batteries should you forget to turn the power off. During recording or playback, the power turns off 90 minutes after recording or playback has ended. If you wish to use the radio again, press the **POWER** key to turn the power back on.

1 ***Turn on the power.***

2 ***Press the MODE key and select "APS" (auto power save setting mode).***

- (1) "AUTO" flashing
- (2) "BEEP" flashing
- (3) "APS" flashing
- (4) Radio frequency display (Setting mode off)

3 ***Press the play ►/BAND/⏲ key to turn the auto power save mode on or off.***

- (1) "APS OF" flashing (Auto power save off)
- (2) "APS On" flashing (Auto power save on)

4 ***Press the MEMO./ENTER/ERASE key to enter the setting.***